

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

明治ホールディングス株式会社（証券コード: 2269）**【見直し変更】**

長期発行体格付 AA－
格付の見直し 安定的 → ポジティブ

【据置】

発行登録債予備格付 AA－
国内CP格付 J－1＋

■格付事由

- (1) 食品、医薬品の製造、販売等を展開する明治グループの持株会社。食品セグメントでは、ヨーグルト、チーズ、チョコレート、スポーツ栄養、乳幼児ミルク、牛乳など幅広いカテゴリーでブランド力や認知度の高い製品を展開している。医薬品セグメントでは、感染症および中枢神経系薬やジェネリック品を中心に、業界内で独自の存在感を示している。また、ワクチンや血漿分画製剤の製造に強みを持つ KM バイオロジクスを傘下に擁している。当社と事業会社との一体性は強く、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- (2) 収益基盤が着実に強化されている。食品事業は収益源の多様化が進展しているほか、コスト上昇が続くなかでも価格改定や商品戦略の強化によって収益力を高めている。課題であった中国事業は事業再編により業績改善が見込まれる。医薬品事業ではワクチン・血漿分画製剤事業や海外事業の拡大、抗菌薬の収益性改善により利益貢献度が高まっている。グループ全体の業績の安定性は従前より向上していると考えられる。財務構成は良好な水準にある。以上より、格付を据え置き、見直しをポジティブに変更した。今後、食品事業の海外事業の損益動向、医薬品事業の好業績の持続性などを確認のうえ、格付に反映させていく。
- (3) 27/3 期営業利益は 1,000 億円（前期比 7.2%増）の計画である。食品事業では価格改定の浸透や海外事業の業績改善、医薬品事業では血漿分画製剤、抗菌薬、新規販売品目の販売拡大が見込まれ、両事業ともに増益となる想定である。なお、中国では 26 年 12 月に中国事業の一部を現地企業に譲渡する予定である。これにより赤字が続いていた中国事業の利益改善効果に加え、グループ全体の財務構成への影響を確認していく。
- (4) 26/3 期末の自己資本は 7,725 億円、自己資本比率 63.2%であるなど財務構成は良好な水準である。現在、食品事業では北海道および厚木での新工場への投資、米国で生産ラインの増設、医薬品事業ではワクチンのデュアルユース生産体制やペニシリン原薬の生産体制構築などが進められている。しかし、当社の安定したキャッシュフロー創出力を背景に良好な財務構成を維持可能と考えられる。

（担当）井上 肇・三浦 麻理子

■格付対象

発行体：明治ホールディングス株式会社

【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	AA－	ポジティブ

【据置】

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	1,000 億円	2024 年 9 月 1 日から 2 年間	AA－

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	1,000 億円	J-1+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年8月17日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：水川 雅義
主任格付アナリスト：井上 肇
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「食品」（2026年4月1日）、「持株会社の格付方法」（2025年4月2日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 明治ホールディングス株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル